



リチウムイオン二次電池の研究開発動向と将来展望 — 正極材料を中心に —

主催：大阪公立大学全固体電池研究所

共催：粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

開催日

2023年

10月13日 金 14:00~

講師 牧村 嘉也 氏

(株式会社豊田中央研究所)



リチウムイオン二次電池 (LIB) の性能向上は、研究開発の初期 (黎明期) から商品化、さらには電池の成長期にかけて正極の新材料提案、材料改質によって実現されてきた。近年では車両電動化計画の前倒し、拡大を受けて、膨大な量のLIB製造が計画されており、製造計画の急拡大に合わせてLi、Co、Niに注目が集まり資源の獲得競争が激しくなっている。電動車両の高性能化のためのLIB高容量化、高出力化、長寿命化の高次元の要求に加え、電池に用いる資源、特にCoは産出国の偏在、人道的見地から使用量削減、除去が強く求められている。限られた金属資源の選択肢の中から『もっといい電池』を出していく必要がある。これら背景を踏まえ、LIBの研究開発動向、とくに正極材料の遷移金属選定の考え方、化学組成と基本特性、高容量化の現状と課題について述べる。

事前申し込み
参加無料

Zoomによる
ハイブリッド開催

申込締切

2023年10月12日(木)

参加申込フォーム

<https://forms.office.com/r/ENY1uAFUfC>



会場

大阪公立大学 I-siteなんば
大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル2階

Zoom

ミーティング ID 950 7725 3546 パスワード 522928

お問い合わせ

大阪公立大学 全固体電池研究所 (学術共同研究拠点事務局)

Mail: gr-knky-assb@omu.ac.jp Tel:072-254-8327

